

**団体名** 特定非営利活動法人周防大島ふるさとづくりのん太の会（周防大島町）

代表者名	安元 稔	団体の目的 ・ 過疎高齢化が止まらない故郷で、地域の活性化を目的とし、文化活動や地域おこし活動等を実施する。 ・ 繁茂する孟宗竹林の整備及び環境美化活動を実施する。
構成員数	69人	
設立	2003年(H15年)	
問い合わせ先	☎0820-74-2042（安元）	

**事業名** 島の玄関口・大島大橋周辺的环境・美化

**事業の目的** 大島大橋復旧に際しての島外の人達の協力、心遣いに感謝しながら、島内外の人達に働きかけて島の元気再生の起爆剤として、拡大した規模の周辺整備美化作業を行い、今後の継続的な環境整備の体制づくりに取り組む。

**事業の内容**

- ・ 第9回竹問題講演会  
開催日：5月11日 場所：大島文化センター  
内容：講演「環境と観光と地域づくり」  
講師：曾根原宗夫さん(信州飯田天竜舟下り船頭)  
参加者：約70人
- ・ 宇宙神代桜、バチカン桜の植樹祭  
開催日：2月1日 10:00~12:00 場所：瀬戸公園内  
内容：瀬戸公園内の景観整備と桜の植樹  
参加者：約50人

**事業の成果** 地域住民の連携、ネットワークの重要性や、環境整備、ボランティア活動の必要性を理解していただくことができた。

**活動現場レポート！** 宇宙神代桜、バチカン桜の植樹際（R2.2.1/瀬戸公園内）

この日は、瀬戸公園内の景観整備と桜の植樹が行なわれました。

植樹する桜は、「宇宙神代桜」と「バチカン桜」の二種類を用意。

宇宙神代桜は、2008～2009年にかけて、国際宇宙ステーション日本実験棟「きぼう」内に、18粒の種を8か月滞在させて、発芽したわずか2粒のうちの一つから育てた実生の子桜で、バチカン桜は、バチカン市国に贈った桜のバックアップで育てた姉妹桜です。

セレモニーでは、周防大島町長や町議会議長等が挨拶されたほか、地元の太鼓グループによる演奏で盛り上がりました。その後、桜の育成や入手にあたっての思い等について会からの説明があり、参加者皆で桜の根もとに土をかけ、世代を超えて大きな木となり、花を咲かせてくれることを願われていました。



作業前の説明



植樹の様子